

社長からの手紙

2018.03 vol.35

火の魂の仲間たち、いつも本当にありがとう。
3月になり旅立ちと新たな出会いの季節になりましたね。
春からの進学や就職の人も少なくないと思います。
火の魂カンパニーも新卒採用が始まり、未来の幹部候補との出会いを求め去年採用が決まった新入社員と共に会社のビジョンを熱く語っています。
就職先を選ぶということは、結婚相手を探すのと同じことです。
夫婦支え合い幸せを目指すように、企業と働く人も互いに力を合わせて、最高の人生を作り上げていくものだとは私は考えています。
当たり前ですが、社長だけでは良い会社は創れないから、社員と共に地域で一番働きがいがあり、なりたい自分になって、夢が叶えられる会社を全社員一丸となって目指していきたいと思います。

改めて今月の社長からの手紙は、3月の歓送迎会の時期でもあるので、新たな出会いで良い人間関係を築く私が大切にしている考え方を手紙として綴りたいと思う。私は30歳まで無職のニートで人生を半分諦めていた。当時の自分は愚痴を言い、言い訳をして周りにマイナスな影響を与えるような生き方をしていた。今では考えられないでしょうが・・・。
「類は友を呼ぶ」という言葉を聞いたことがあるだろうけど、この「類は友を呼ぶ」が人間関係の全ての現れだと言っても過言ではないのだ。だから私の場合は、30歳まで自分の身の回りにいる人は、愚痴や言い訳をする人をドンドン引き寄せ、そのネガティブな人たちと人間関係を築いていた。

しかし今は、自分の身の回りには、夢を語り、明るく元気で、いつも周りに気遣いができ、良い影響を沢山もらえる仲間が側にいるようになった。私のまわりにはいる仲間は、いつも笑いが絶えないし、互いに尊重しあい時に助け合えるような良い人間関係を43歳にして築けていると実感している。30才まで無職の自分がどのように人間関係を変えてきたのか？それは自分の身の周りにいて欲しいと思う理想の人物像を思い浮かべ、その理想の人物像を自分自身が今からそのように生きて、その人に成り切り周りの人に接していけばいいのだ。そうすると「類は友を呼ぶ」という原理で気が付くと理想の人間関係を築けているものです。自分の周りにいる7人の評価の平均が自分自身であるという言葉があるように、自分の周りには自分に似た人間が集まっているというのは紛れも無く事実なのです。

株式会社 火の魂カンパニー 代表取締役 野沢賢司